



# プログラミング 面白い

## 大迫高生 講 師 中学生がロボット操作

花巻

県立大迫高校（三田正巳校長、生徒56人）の生徒が花巻市大迫町内の小中学生にプログラミングの基礎と魅力を伝える「大迫deプロ・ゼミ」は23日、同町の大迫中学校で始まった。11月まで開催される予定で、同高の生徒が学習用キットなどを活用しながら指導し、子供たちの倫理的思考力を育む。

大迫中、大迫小学校が対象で、ともに3回の実施を予定。同中で行われた教室には2年生13人が参加し、同高の豊澤和希さん、吉田晴喜さん（と

もに3年）、追木優輝さん、及川稀美さん（ともに1年）、三田校長が講師を務めた。

三田校長はあらゆるものがインターネットでつながる「IoT社会」を紹介し、プログラミングの基本について説明した。中学生たちはボール型ロボットを使って実際のプログラミングも体験。同高の生徒に教わりながらタブレット端末へ「前に進む」「回転」などの多様な指示を組み合わせ、命令を出し、命令通りに動く様子を見て笑顔を見せていた。

同中の吉田瑠晟さんは「ゲームやロボットには開発者の努力があることが分かった。プログラミングにもっと慣れていこうと思った」と話していた。

大迫小では10月31日から開催される。同高の吉田さんは「普段からプログラミングで音楽を作っている。みんながプログラミングやITに興味関心を持ってくれたらうれしい」と期待していた。